

## 2019 年度 地区 P T A 情報交換会について各市町への報告と回答

地区	情報交換会の報告と要望	行政からの回答
五霞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五霞は高い建物がない。公民館しかない。</li> <li>・工場にも入れない。どこに逃げたらよいか。</li> <li>・避難所（一般避難所）が川沿いのところが多い。（全て水没する）</li> <li>・どここの避難所もいっぱいだった。</li> <li>・第一次避難先で、隔離部屋など、区別できる避難先がほしい。それぞれ、避難先がいっぱいになってしまうと次を探さなくてはならない。</li> <li>・役場からの情報が『避難指示』だけだった。細かく事前の情報がほしい。（TV やスマホ）</li> <li>・マニュアル化した防災の情報がほしい。</li> <li>・地域からの協力や連絡体制がない。</li> </ul>	<p><b>【対応課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五霞町役場生活安全課くらし安全グループ</li> <li>・五霞町役場健康福祉課社会福祉グループ</li> </ul> <p><b>【回答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全域が水浸想定区域となっている。町外に早めに出ることが重要であり、町外に親戚や知人など身を寄せる場所があれば考えておいてほしい。</li> <li>・水害時の福祉避難所は「保健センター（2階建て）」「谷野ロジテム（株）事務所等3階」となっており、車椅子や階段の昇降が困難な方を対象に利用できる。</li> <li>・要配慮者の避難については、レベル3「避難準備・高齢者等避難開始」の発令を以て避難を開始してほしい。</li> <li>・情報は、防災行政無線、五霞町のHP、登録者のメールマガジン等で配信される。平時からどのタイミングで避難するか家族で相談し、マイタイムラインの作成を行ってほしい。</li> <li>・避難に地域の協力が必要な方は、健康福祉課で要援助者の登録をしてください。</li> </ul>
板東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児を連れての避難は難しい。</li> <li>・どこに避難をすればいいのか、どここの避難所が空いているのか分からなかった。</li> <li>・『防災ラジオ』や『市のメールを登録（無料で登録できる）』していると詳しい情報を教えてくれる。</li> <li>・『防災ラジオ』を自分で購入した。</li> <li>・『防災ラジオ』があると便利。</li> <li>・障害者向けの避難所がほしい（増やしてほしい）。</li> <li>・避難所内で使える場所や情報などの掲示をしてほしい。できれば誰が避難しているのか知りたい。</li> <li>・駐車スペースを確保してほしい。</li> <li>・避難所で通路にシートを敷いてしまった場所があるので、担当の方は見回りをしてほしい。</li> </ul>	<p><b>【対応課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂東市役所総務部交通防災課</li> <li>・坂東市役所福祉部</li> </ul> <p><b>【回答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所はホームページに掲載した。</li> <li>・防災ラジオは1台3,000円で希望者には配布。申し込みは市役所3階か猿島出張所の窓口センターでできる。今後デジタル化などの変更は考えていない。防災ラジオは聞き直しボタンがあるので活用してほしい。</li> <li>・避難所の駐車場は確保することはできないが、車の乗降については出入り口近くのスペースを確保することができる。</li> <li>・避難場所は長期化することもあるので、その場合には掲示場所の設定を考えていた。</li> <li>・今回は自主避難場所として、開設していた。</li> <li>・矢作地区が300人と多かった。</li> <li>・広域避難場所として坂東総合高等学校と岩井高等学校を開設した。</li> <li>・冠水した場所は芽吹大橋付近であった。令和元年10月13日6時から1時間程度であった。メールで連絡した。</li> <li>・19号のときには、すべての避難所を開設した。福祉避難所の医療的な面については考えていないので、今後考えていきたい。</li> </ul>

<p>境</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難するまでに通行止めや冠水している場所等の情報がない。</li> <li>・避難場所や状況の情報が少なすぎる。</li> <li>・障害のある子を一般の人と一緒に避難させるのは難しい。</li> <li>・境町の防災アプリの情報が遅い。 (エリアメールの音に敏感な子はパニックになるので消している。だからアプリを頼りにしている。)</li> <li>・避難したくても避難できる場所がない。</li> <li>・『防災無線』が聞こえない。</li> <li>・避難場所を増やしてほしい。</li> <li>・障害者や赤ちゃん優先の避難所を作してほしい。</li> <li>・避難場所はレベル3ぐらいで早めに開けてほしい。</li> <li>・障害者に対しての理解が足りないので、分かる人等の配慮があると助かる。</li> <li>・冠水対策や街灯を増やしてほしい。</li> </ul>	<p><b>【対応課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・境町役場総務部防災安全課</li> <li>・境町役場福祉部社会福祉課</li> </ul> <p><b>【回答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所や冠水箇所は随時アプリやホームページに挙げています。TVのDボタンで確認することができるので、観てほしい。</li> <li>・アプリの使い方の向上をしていきたい。</li> <li>・避難施設の中で別室を設け、障害者への対応をしていきたい。</li> <li>・命を守る行動が第一である。車で三和方面へ避難してほしい。</li> <li>・防災無線を11基追加設置する。サイレンで知らせるようにする。</li> <li>・避難所を増設する方向で考えている。児童生徒が利用している施設をあたっている。高齢者や障害者に対して部屋を別に設けていくことを考えている。</li> <li>・思川の状態が悪く、総和工業高校が避難所として開けられなかった。</li> <li>・障害者に対して福祉部中心に対応している。ケアマネージャーとも相談している。周囲の人に障害の特性について分かってもらうことも重要である。</li> <li>・冠水箇所に街灯が無いという件については、冠水箇所をアプリやホームページに載せるようにしているが、街灯までは考えていなかった。検討したい。</li> <li>・避難についてヘルプカードの使用をしてみてもどうか。外国の方の避難する場合にも活用したいと考えている。</li> <li>・親戚など町外の場所を頼りにすることも考えてほしい。</li> <li>・自分でできるものは自分で行うことを考えてほしい。 (防災グッズを持って避難する。)</li> <li>・広域避難所の調整をしている。</li> <li>・自宅の2階に避難すればよいこととして自分なりの解釈で避難しない方がいた。</li> <li>・避難所でも中に入れずに車で過ごす場合は、名簿などに車にいることを記入したり、受付に伝えたりすることも大切である。</li> <li>・避難所で水を配布したが、避難が長期になってしまう場合もあるので、水道水が飲める場合には、水道水を飲んでもらうようにしたい。</li> <li>・利根川は9.9メートルになると超水するが、9.6メートルまでとなった。決壊するかと心配であった。</li> </ul>
----------	---	---

<p>古河</p>	<p><b>【古河地区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこへ行ったらいいか、どこが空いているか分からなかった。</li> <li>・低地の体育館の開放はどうかと思った。</li> <li>・他県では学校校舎を開放したとのこと。校舎ならばトイレも多く、教室も多いため、障害児も安心できるのではないか。</li> <li>・避難所は、だれがどのタイミングで開けるのか。</li> <li>・避難所開設のアナウンスが聞こえない。電話で聞く方法もあるが、つながらなかった。</li> <li>・福祉避難所に入るために手帳は必要か？</li> <li>・『ヘルプカード』はどこでもらえるか。</li> </ul> <p><b>【三和地区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『要支援者登録』を市にしているのに、民生委員さんからの連絡がなかった。何のための登録なのか。</li> <li>・なぜ、福祉避難所の開設が避難所より遅かったのか？優先的に入れてもらいたかった。</li> <li>・『防災無線』が何を言っているのか分からなかった。</li> <li>・『防災ラジオ』があると助かるので検討してもらいたい。</li> <li>・台風で洪水になったときに、ガードレールが埋まって見えないときがあるので考えてもらいたい。</li> </ul> <p><b>【総和地区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『要支援者登録』について、登録した方がよいのか分からなかった。</li> <li>・以前、勧められて『要支援者登録』をしたが、今回の台風19号の際には何の連絡もなかった。</li> <li>・多動な子なので、人がたくさんいる場所には連れていけないので、個別の福祉避難所があるとありがたい。</li> <li>・みんなが避難することになったとき、全員が避難所に入れるのか不安。</li> </ul>	<p><b>【対応課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古河市消防防災課</li> <li>・古河市福祉総務課</li> <li>・古河市障害福祉課</li> </ul> <p><b>【回答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったより水位の上昇が早く、避難指示を朝に出す予定でいたが夜中になった。避難所にいる方でさえ情報が少なかった。市民や関係機関へアンケートを実施したので結果を活用し改善していきたい。</li> <li>・要支援者登録については、災害発生時に避難等で支援を要する方の名簿を作成するもので、そのうち公表してもいい方のみ、名簿を自治体等に配布している。（年1回）</li> <li>・要支援者登録は、3.11をきっかけに始まった。地震のときは名簿をもとに登録者が避難できているか等の確認を行う。水害の場合は自治体や民生委員にそれ以上頼むことはできない。地域によって声掛け等はある。</li> <li>・総和、三和地区は全域に防災無線があるが、古河地区は利根川沿線のみ。台風などの大雨暴風時は聞こえにくい。今回は緊急性を分かってもらうためにサイレンを鳴らした。</li> <li>・避難所は32か所。福祉避難所（3か所）について、すぐには開けない。一般の方も来てしまうため。まずは一般避難所へ避難していただき、避難生活が長引くようなときは福祉避難所へ移動してもらう。</li> <li>・全避難所の収容人数は3万人。利根川決壊時は10万人が避難することになる。避難所に限らず、知人や親類等も検討してもらいたい。</li> <li>・今後は相談支援専門家を通し、個別計画を立てていく予定。重度の方や要支援の方から順次行っていく。</li> <li>・家庭での避難計画も必要。計画を書いて、実際に動いてみるのもよい。</li> <li>・地域の学校に避難することについて、交流で行っていた学校だから安心して避難所に行けたという話もあった。</li> <li>・『ヘルプカード』は避難所でも付けておいた方がよい。支援が必要だと分かりやすい。古河・総和・三和の各庁舎でもらうことができる。</li> <li>・自分の命は自分で守ることが大切。</li> </ul> <p>※『避難行動要支援者支援制度』資料の提供あり</p>
-----------	---	--